

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 4 月 10 日

埼玉県知事

大野 元裕 殿



提出者

住 所 埼玉県比企郡川島町大字正直595

氏 名 株式会社 利根川建設

利根川 博

電話番号 049-297-0333

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 利根川建設
事業場の所在地	埼玉県比企郡川島町大字正直595
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業・総合工事業
②事業の規模	1.5億
③従業員数	6名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・受注した工事によって発生する多様な産業廃棄物は各現場にて可能な限り分別、収集を行い種類ごとに搬出する。・収集、運搬、処理を現場の条件及び産業廃棄物の種類により適切な業者を選定し書面により契約し委託処分をしている。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">社 長</div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">工 事 部 長</div>		(産業廃棄物処理管理責任者)	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">各現場代理人</div>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">協 力 業 者</div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排 出 量	1662.44 t	t
	(これまでに実施した取組) 各現場毎に使用材料及び数量を把握し発注時に適切な数量及び簡易梱包等の支持を行う。 飛散する物又は小物等は袋にまとめる。 パレット等は返却する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排 出 量	1496.19 t	t
	(今後実施する予定の取組) 受注した工事量及び種類により産業廃棄物量が左右されるがこれまで行ってきた事を継続して行う。 前年度に対して-10%削減を目指す。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスコン殻、コンクリート殻、建設汚泥等 識別管を管理する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) アスコン殻、コンクリート殻、建設汚泥等 識別管を継続する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(これまでに実施した取組) 実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(これまでに実施した取組) 実施なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(これまでに実施した取組) 実施なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全処理委託量	1662.44 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	4.97 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1657.47 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	t
	(これまでに実施した取組) 各現場毎に使用材料及び数量を把握し発注時に簡易梱包等の指示を行う。 収集、運搬、処理を現場の条件及び産業廃棄物の種類により適切な業者を選定し書面により契約し委託処分をしている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全処理委託量	1496.19 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	4.47 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1491.72 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>これまで実施してきた取組を継続する。</p> <p>各現場代理人及び協力会社等に周知徹底する。</p>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

[前年度（令和4年度）実績]

前年度目標値 2802.43 t

産業廃棄物の種類	単位	前年度の排出量	今年度目標
アスコン殻	t	1354.60	1219.14
コンクリート殻	t	302.50	272.25
建設汚泥	t	4.97	4.47
廃プラ	t	0.37	0.33
混合廃棄物	t	0.00	0.00
木くず	t	0.00	0.00
金属くず	t	0.00	0.00
石綿含有廃棄物	t	0.00	0.00
その他	t	0.00	0.00
合計	t	1662.44	1496.19

今後予想される産業廃棄物の種類

- 1 アスコン殻
- 2 コンクリート殻
- 3 建設汚泥（廃アルカリ含む）
- 4 廃プラスチック
- 5 木くず
- 6 建設混合廃棄物
- 7 金属くず
- 8 石綿含有廃棄物
- 9 その他

可能な限り分別し適切に処分する。